

啓翁桜フェア

啓翁桜は、冬に咲かせることができる桜の一種で、1本の枝にやさしいピンクの可憐な花を数多く咲かせます。山形県は、啓翁桜の全国一の産地であり、置賜地域では白鷹町、高畠町、長井市を中心に全域で栽培されています。

そんな置賜産啓翁桜の魅力を多くの人に知っていただき、親しんでほしいとの思いから、このたび「啓翁桜フェア」を開催いたします。身の回りに花が少なくなるこの時期に、ぜひ会場に足をお運びいただき、会場を彩る「冬のサクラ」で一足早い春をお楽しみください。ご来場をお待ちしております。

開催内容

日時 平成29年2月11日(土)～12日(日)
11日 11:00～19:00
12日 11:00～18:00

会場 伝国の杜 エントランスホール
(米沢市丸の内一丁目2番1号)

内容 置賜産の啓翁桜を用いた飾花、
アレンジメントの展示等を行います。

主催 置賜総合支庁、山形県花き生産連絡協議会
協力 JA山形おきたま、同花卉振興会、
山形県南生花商組合

お問合せ 置賜総合支庁農業振興課 TEL 0238-26-6051
※事前申し込み等は不要です。お気軽にご来場ください。



昨年の会場の飾り付け

伝国の杜付近では上杉雪灯籠まつりが開催されています。会場周辺に駐車場がありませんので、米沢市役所、米沢駅からのシャトルバスをご利用ください。詳細は雪灯籠まつりHPを参照ください。

<http://yukidourou.yonezawa-matsuri.jp/>

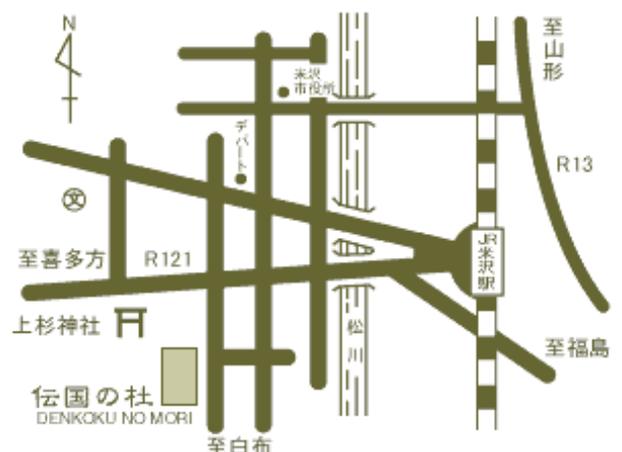


啓翁桜って、どんな花？

啓翁桜は、苗木を植えてから四～五年かけて枝を生育させてから収穫します。

秋になって気温が下がり、一定の低温にあたることで、開花の準備ができます。秋の訪れの早い山形では、11月下旬には開花条件が整うため、切り枝をハウスで暖めることで真冬に花を咲かせることができます。

花言葉は、純潔、淡白、精神美。



各日、アンケート回答者のうち先着100人に啓翁桜をプレゼント！